

創立56周年を迎えて

盛岡中央高等学校
校長 千葉 研二

本校の開校記念日は9月17日で、今年創立56年目となります。

本校は昭和38年4月、初代校長龍澤福美先生が「独立進取」「研鑽努力」を建学の精神とし、盛岡市高松に龍澤高等学校として創立されました。翌39年に現在地の観武ヶ原に校舎を移し、以後幾多の苦難を乗り越えてこの度創立56周年を迎えるに至りました。

その間、開校当初の普通科に加えて自動車科、情報処理科を設置。更には平成元年以来三度に亘る校舎の増改築により教育環境の一層の整備に努めるとともに、平成4年には一層の発展を求めて校名を盛岡中央高等学校と改めました。そして平成16年4月には単位制（通信制課程）を設置、また、平成30年4月に附属中学校を開設し、2年目を迎え、中高一貫6ヶ年教育を実施、現在は全日制・通信制併置の東北屈指の私学教育の普通科高校として、地域はもとより本県教育の発展に大きく寄与しております。

特にも、2003年5月全国高等学校初の品質管理の国際標準規格ISO9001の認証取得をはじめ、2008年5月には県内高等学校初の国際標準規格環境ISO14001を認証取得し、環境教育の推進・充実を図ってまいりました。また、グローバル化に対応した海外修学旅行や短期・長期の留学研修、昨年は20回目の記念となった「CHUO国際教育フォーラム」、今年は15の国と地域から19校77名を招き姉妹校交流や教員の交流研修行われ様々な国際教育交流事業も展開されグローバル人材育成に大きな役割を果たしています。

更に、文部科学省が国際的に活躍できるグローバルリーダーを育成するスーパーグローバルハイスクール（SGH）のアソシエイト校（協力校）として本校は本年度で5年目を迎え、国際化に対応した質の高いカリキュラムを実践して国際理解教育を推進しています。

また、2008年9月には日本の高校では11番目となるユネスコスクールにも加盟し世界各国の学校と連絡・交流を図り地球規模の諸問題に取り組んでおります。

更にはOBも参加し17年目となる「盛岡さんさ踊り」も年々盛んとなり、今年度も第3回盛岡さんさ甲子園に出場、残念ながら3連覇は叶えませんでしたが多様な教育活動は、中央高校ならではの教育として県内外から注目を集め賞賛もいただいております。

加えて今春の進学においては、北大、東北大、一橋大、筑波大、慶応大、早稲田大、明治大、法政大、学習院大、東京理科大などの難関大学にも合格し、国公立大80名、私立大337名、短大13名、専門学校122名、海外進学2名と素晴らしい実績を残し、名実ともに私学の雄として県内進学校に位置づけられるものとなっています。

また、部活動においても、柔道部男女、男子ソフトボール、ゴルフ、スキー部の全国大会出場など、大いに成果を上げております。特にも2年生の伊藤ふたばさんはボルダリングW杯に出場し世界で活躍しております。

本校の輝かしい業績は、何よりもまず、初代校長龍澤福美先生の高邁なる建学の精神を常に基本に据え、更には、草創期に生徒に述べられた「人は考え、それを実行に移し、そして省みること」と「素直な心になって物事を行うこと」の指針が、その後の本校の礎石になって発展したものだと思っております。

さらに、開校以来着々と他に誇り得る堅実な校風の下で育ち、視野広く豊かな教養を身につけた12,254名を越す卒業生が、県内外に於いて社会の有為な人材として活躍してもおります。

創立56周年を迎えた本年、新たな歴史のスタートの年と位置づけ、更なる歴史の創造と発展を期して努力して行くことを決意し、この9月17日の開校記念日を教職員並びに生徒諸君がその建学の意義を深くかみしめ、脈々と流れ続ける初代龍澤校長先生の精神に思いを致し、更に一層奮闘精進に励むことを共に誓い合う記念の日といたしたいと思っております。

令和元年9月17日